

＊私は歌う
喝采よりも
愛を求めて
命つきるまで……

ROSE

the ROSE
テラックスカラー

ローズ



ベット・ミドラー アラン・ペイツ フレデリック・フォレスト

●製作マービン・ウォース アーロン・ラッソー ●監督マーク・ライデル ●脚本ビル・カービー ホー・ゴールドマン ●ストーリー ヒル・カービー ●製作総指揮トニー・レイ ●撮影ビル・モリス・シグランド (A.S.C.)
マービン・ウォース アーロン・ラッソー・プロ製作 マーク・ライデル作品 主題歌 オリジナル・サウンドトラック ワナー・レコード 20世紀フォックス・映画



★スタッフ

製作.....マービン・ウォース
.....アーロン・ラッソー
脚色.....ビル・カービー
.....ボー・ゴールドマン
ストーリー.....ビル・カービー
撮影.....ビルモス・ジグモンド
音楽・編曲・監修.....ポール・ロスチャイルド
主題曲.....サントラ盤＝ワーナー・レコード

★キャスト

ローズ.....ベット・ミドラー
ラッジ.....アラン・ベイツ
ダイアー.....フレデリック・フォレスト
ビリー・レイ.....パリー・ディーン・スタントン
デニス.....パリー・プライマス
マル.....デビッド・キース

(上映時間＝2時間14分)



★全米ヒット・バレードNo.1の主題曲/全世界に吹き荒れるベット・ミドラー旋風!

「キャッシュボックス誌」の7月5日付で、ベット・ミドラーの主演映画「ローズ」の主題曲が全米ヒット・バレードNo.1の王座を確保しました。

バーブラ・ストライサンド、ライザ・ミネリをしのぐ80年代の大型スーパースターとして、ベット・ミドラーのデビュー映画「ローズ」は大ヒットし、全篇に流れる「男が女を愛する時」ステイ・ウイズ・ミー」などパンチのきいたロック・バレード12曲は、ミリオン・セラーとなって映画と音楽ファンを熱狂させ、ハリウッドはいま新しいミュージカルを求めて大きく変貌しようとしています。新傾向ミュージカルの第一弾が、この「ローズ」といわれています。

★ジャンス・ジョプリンをモデルに激動の時代を鮮烈に生きて愛して死んだローズ!

ベットの演じるローズというロック界のスーパースターは、60年代のロック界の名花ジャンス・ジョプリンがモデルで、ジョプリンのほか、60年代という激動期を生きたさまざまなミュージシャンたちの生と死をヒントにし復合体として創造された強烈な人間像です。この脚本を執筆したのは「カッコーの巣の上で」でアカデミー脚本賞を受賞した名手ポー・ゴールドマンで、監督は「シンデレラ・リバイター」の名匠マーク・ライデルがあたっています。

60年代——アメリカがベトナム戦争と反体制の激動にゆれ動いた時代。若者たちの屈折した心を代弁してくれたのは、ロック・シンガーたちでした。ローズはカリスマ的なセックス・アピールと、肉体の底から絶唱するような歌唱力で、たちまちスーパースターとなったシンガーでした。フロリダのひなびた町の貧しい家に生まれた彼女は、スターを夢みて、どん底からはいあがった女でした。

いまビッグ・スターとなったローズは、故郷にニシキを飾って全米公演に出ることになっていましたが、ハード・スケジュールから疲労でくたくたとなり、アルコールと麻薬を併用して精神のバランスを失いつつありました。マネジャーのラッジ(結婚しない女)のアラン・ベイツ)に、しばらく引退したいと申し出て、どなりつけられると、元気をとりもどし旅公演に出ることになります。

★愛と喝采の煉獄に燃えたぎる情熱/激情に生きた魅惑のスーパースター!

ローズはニューヨークで知りあったダイアー(「地獄の黙示録」のフレデリック・フォレストでアカデミー助演賞候補になった)が、ベトナム脱走兵であることを知ると、彼女は深く同情し、彼の男らしさにひかれて専用機で旅公演に同行させます。

激情型で衝動的なローズは、ダイアーを深く愛するようになりませんが、観衆の喝采をまねにすると、自分のもろさスターとしての不安から、ますますアルコールに溺れていきます。

ニューヨーク公演中にレコードの録音を忘れてしまいラッジと争ったり、セントルイス公演中に出会った若い兵士を専用機につれこんで脱走兵にしたり、昔のレスビアン(の女友だちと出会うダイアーを怒らせるなど、波瀾のなかに、真実の愛と心の平衡を求めて、彼女はステージで体当たりで歌います。

★ベットの絶唱が魂をゆさぶる3つの大コンサートの圧倒的迫力!

ついにベットは故郷のステージに立つのですが、このクライマックスのコンサート・シーンには一万人のファンを集めた一大ベージェントとなって圧倒的な迫力を見せます。

ローズは、このステージで力つきて若い生命を散らすのですが、このクライマックスのほか、ニューヨーク公演でのコンサート・シーン。さらにメンフィス公演でのコンサートで「ミッドナイト・イン・メンフィス」などを歌う三つのコンサート・シーンが、この映画のハイライトでもあります。さらに彼女が無名時代に出演していたゲイ・バーや、酒場に立ち寄って歌うシーンも折りこまれ、80年代のスーパースター・ベット・ミドラーの魅力のすべてを見せてくれます。

この演技で彼女はアカデミー主演賞候補になったほか、ゴールデン・グローブ主演女優賞に輝きました。新しいミュージカル・ラブ・ストーリーの熱気あふれる秀作の誕生です。

「スター・ウォーズ/帝国の逆襲」に続きフォックスが贈るSF冒険ファンタジー超大作!

81年新春公開

フラッシュ・シュゴードン

サム・ジョーンズ/メロディー・アンダーソン/マックス・フォン・シドー

11月1日(土)より愛のロードショー

お得な特別鑑賞券1100円(当日一般1400円(学生1200円)の処)当劇場窓口にて発売中!

有楽町 日劇前 ニュー東宝 シネマ2 (571) 1947

上映時間 連日 11:00 1:35 4:10 6:45